

「北上川水系河川整備学識者懇談会」規約（変更案）

変更箇所： _____

第１条（趣旨）

この規約は、「北上川水系河川整備学識者懇談会」（以下「懇談会」という。）の設置について必要な事項を定める。

第２条（目的）

この懇談会は、国土交通省東北地方整備局長が作成及び変更する「北上川水系河川整備計画（国管理区間）」（以下「整備計画」という。）の素案について意見を述べるとともに、河川整備計画策定後の各種施策の進捗に関して意見を述べるほか、河川整備計画に基づいて実施される事業のうち、再評価、事後評価の対象事業の評価を行い東北地方整備局長に対し、意見を述べるものとする。

第３条（組織）

懇談会は、東北地方整備局長が設置する。

- 懇談会の委員は、東北地方整備局長が委嘱する。

第４条（懇談会）

懇談会は、部会からの報告を受けた事項に関し調整を行うとともに、懇談会としての意見を取りまとめる。

- 懇談会委員の任期は原則として２年とし、再任を妨げない。
- 懇談会は、委員総数の二分の一以上の出席をもって成立する。なお、委員の代理出席は原則として認めない。

第５条（部会）

懇談会は、懇談会の下部組織として、上流部会と下流部会を設ける。

- 部会は、整備計画の具体的内容について議論を行い、懇談会に報告する。
- 部会の構成は、懇談会がこれを決定する。
- 部会は、部会委員総数の二分の一以上の出席をもって成立する。なお、委員の代理出席は原則として認めない。

第６条（座長及び部会長）

懇談会には座長及び副座長を置き、部会には部会長及び副部会長を置く。

- 座長は、懇談会委員の互選により定める。
- 部会長は座長が指名する。なお、部会長は副座長を兼ねるものとする。
- 副部会長は部会長が指名する。
- 座長は懇談会を招集し、その運営と進行を総括する。
- 部会長は部会を招集し、その運営と進行を総括する。
- 座長に事故がある時は、副座長がその職務を代行する。
- 部会長に事故がある時は、副部会長がその職務を代行する。

第７条（公開）

懇談会及び部会の公開方法については、懇談会で定める。

第８条（事務局）

懇談会及び部会の事務局は、東北地方整備局岩手河川国道事務所及び北上川下流河川事務所におく。

第 9 条（規約の改正）

本規約の改正は、委員総数の三分の二以上の同意を得てこれを行う。

第 10 条（雑 則）

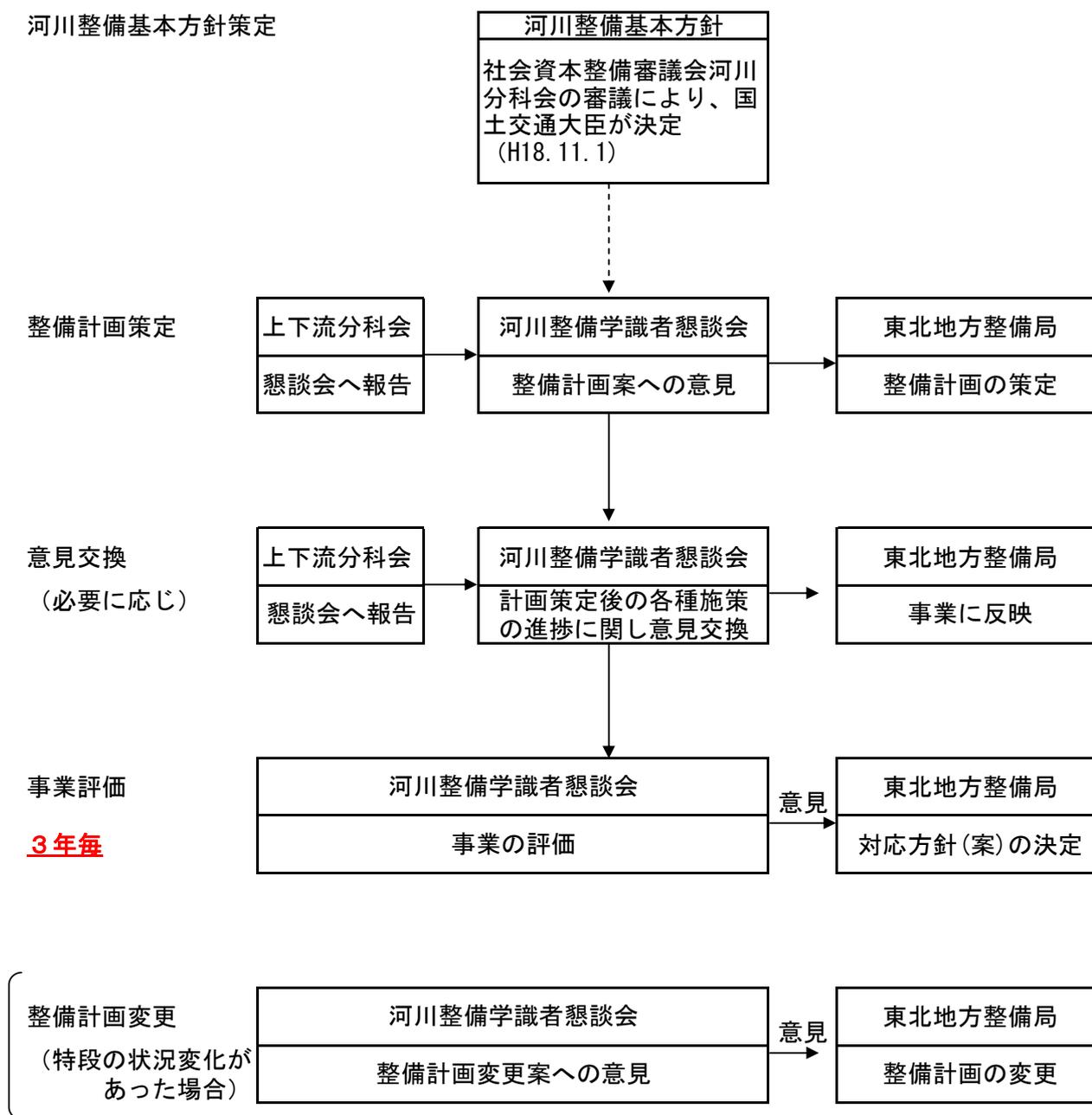
この規約に定めるもののほか、懇談会及び部会の運営に関し必要な事項は、座長が懇談会に諮って定める。

附 則（施行期日）

この規約は、平成 1 9 年 5 月 3 1 日より施行する。

平成 2 3 年 月 日一部改正

北上川水系河川整備学識者懇談会



「北上川水系河川整備学識者懇談会・上流部会・下流部会」 に関する公開方法

変更箇所： _____

1. 会議の公開

- (1) 会議、会議資料、議事概要及び議事録は公開するものとする。ただし特段の理由があるときには、会議、会議資料、及び議事概要及び議事録を非公開とすることができる。
- (2) 前項ただし書きの場合においては、その理由を明示し、会議、会議資料、及び議事概要及び議事録の全部又は一部を非公開とすることができる。

2. 議事概要及び議事録

北上川水系河川整備学識者懇談会・上流部会・下流部会の議事について、事務局が議事概要及び議事録を作成するものとする。

3. 公開の方法

- (1) 会議資料、及び議事概要及び議事録は閲覧、インターネットでの掲載等によるものとする。
- (2) 閲覧場所は下記のとおりとする。

国土交通省

岩手河川国道事務所及びその出張所

(盛岡出張所・水沢出張所・一関出張所)

北上川下流河川事務所及びその出張所

(大崎出張所・鹿島台出張所・飯野川出張所・米谷出張所・
涌谷出張所)

胆沢ダム工事事務所

北上川ダム統合管理事務所及び支所

(石淵ダム、田瀬ダム、湯田ダム、管理三課(御所ダム))

鳴子ダム管理所

平成19年 5月31日施行

平成23年 月 日一部改正

「北上川水系河川整備学識者懇談会・上流部会・下流部会」 に関する傍聴規定

1. 「北上川水系河川整備学識者懇談会・上流部会・下流部会」（以下「懇談会」という）は公開とする。
2. 会議の公開は、会議の傍聴を認めることにより行うものとする。
3. 会議の傍聴は、次に定めるところにより実施するものとする。
 - (1) 傍聴人は、一般傍聴人と報道関係者とする。
 - (2) 傍聴席は、一般傍聴人席と報道関係者席に区分するものとする。
 - (3) 一般傍聴人の定員は、会場の状況により座長又は部会長が判断するものとする。
 - (4) 次の事項に該当する者は傍聴席に入ることができない。
 - ア 危険な物を携帯している者
 - イ 張り紙、ビラ、プラカード、のぼりの類を携帯している者
 - ウ 酒気を帯びていると認められる者
 - エ その他、会議を妨害し、又は他人に迷惑を及ぼすおそれがあると認められる者
 - (5) 傍聴人は、静粛を旨とし、次の事項を守らなければならない。
 - ア 懇談会の会議における言論に対し、拍手その他により公然と可否を表明しないこと。
 - イ 騒ぎ立てる等、懇談会の会議を妨害しないこと。
 - ウ 鉢巻き、腕章の類をする等の示威的行為をしないこと。
 - エ 飲食又は喫煙をしないこと。
 - オ 他人の迷惑となる行為をしないこと。
 - カ その他懇談会の秩序を乱し、又は議事の妨害となるような行為をしないこと。
 - (6) 傍聴人は、懇談会で非公開とする議題があったときは、座長又は部会長の指示により速やかに退場しなければならない。
 - (7) 傍聴人は、懇談会の傍聴に当たっては、座長又は部会長及び事務局の指示に従わなければならない。
 - (8) 座長又は部会長は、傍聴人が上記に違反したときは、これを退場させることができる。

「北上川水系河川整備学識者懇談会」委員名簿

	氏 名	所 属 等
1	あずま 東 淳 樹	岩手大学 農学部 共生環境課程 講師
2	あん どう 藤 あきら 昭	北海商科大学 商学部 観光産業学科 教授
3	いしかわ 石川 ただ はる 晴	東京工業大学院 総合理工学研究科 教授
4	い どう 藤 あきら 彬	北上市長
5	い と う 藤 や す し 志 康	大崎市長
6	うみ た 田 て る ゆ き 之 輝	岩手大学 工学部 社会環境工学科 教授
7	うら べ 部 じょう たら う 郎 城 太	東北大学大学院 生命科学研究科 教授
8	お ぎ わ 沢 ま さ き 記 昌	奥州市長
9	かつ べ 部 おさむ 修	一関市長
10	か どう 藤 とおる 徹	宮城大学 食産業学部 環境システム学科 教授
11	かめ やま 山 ひろし 紘	石巻市長
12	か ん の 野 ふ み お 夫 文	岩手大学 教育学部 学校教員養成課程 社会科教育科 教授
13	きくち 池 た か 賀 お 夫 多	元横浜国立大学大学院 環境情報研究院 教授
14	きじま 木島 あきひろ 博	東北大学大学院 農学研究科 農学部附属 複合生態フィールド教育研究センター 教授
15	きむら 村 み ち こ 子 美 智	茨城大学 教育学部 准教授
16	さかい 堺 し げ き 樹 茂	岩手大学 工学部長
17	さわもと 本 ま さ き 樹 正	東北大学 名誉教授
18	しゅうとう 藤 の ぶ お 夫 伸	東北大学 名誉教授
19	たかさき 高崎 み つ る	石巻専修大学 理工学部 生物生産工学科 教授
20	たけはら 原 あきひで 秀 明	岩手大学 人文社会科学部 環境科学課程 環境科学 教授
21	だて 達 むねひろ 弘 宗	仙台大学 客員教授、宮城県図書館顧問
22	たにふじ 藤 ひろあき 明 裕	盛岡市長
23	ちば 葉 けいこ 子 啓	岩手県立大学 盛岡短期大学部 生活科学科 教授
24	ひろた 田 じゅんいち 一 純	岩手大学 農学部 共生環境課程 教授
25	ふせ 施 たかひさ 尚 孝	登米市長
26	ゆい 井 まさと 敏 正	東北鳥類研究所 所長

計 26名

敬称略、50音順

「北上川水系河川整備学識者懇談会上流部会」委員名簿

	氏 名		所 属 等				
1	あずま 東	あ つ き 淳 樹	岩手大学 農学部 共生環境課程 講師				
2	あん 安	どう 藤	あきら 昭	北海商科大学 商学部 観光産業学科 教授			
3	い 伊	とう 藤	あきら 彬	北上市長			
4	うみ 海	た 田	てるゆき 輝 之	岩手大学 工学部 社会環境工学科 教授			
5	おざ 小	わ 沢	まさ 昌	さき 記	奥州市長		
6	かつ 勝	べ 部	おさむ 修	一関市長			
7	か 菅	んの 野	ふみ 文	お夫	岩手大学 教育学部 学校教員養成課程 社会科教育科 教授		
8	さかい 堺	し 茂	げ げ	き 樹	岩手大学 工学部長		
9	たけは 竹	ら 原	あきひ 明	で 秀	岩手大学 人文社会科学部 環境科学課程 環境科学 教授		
10	たに 谷	ふ に	じ 裕	あ ろ	あ あ	き 明	盛岡市長
11	ち 千	ば 葉	け 啓	い い	こ 子	岩手県立大学 盛岡短期大学部 生活科学科 教授	
12	ひろ 広	ろ ろ	た 田	じゅん 純	いち 一	岩手大学 農学部 共生環境課程 教授	
13	ゆ 由	い 井	まさ 正	とし と	し 敏	東北鳥類研究所 所長	

計 13名

敬称略、50音順

「北上川水系河川整備学識者懇談会下流部会」委員名簿

	氏 名		所 属 等
1	いしかわ 石 川	ただはる 忠 晴	東京工業大学院 総合理工学研究科 教授
2	いとう 伊 藤	やすし 康 志	大崎市長
3	うらべ 占 部	じょうたろう 城 太郎	東北大学大学院 生命科学研究科 教授
4	かとう 加 藤	とおる 徹	宮城大学 食産業学部 環境システム学科 教授
5	かめやま 亀 山	ひろし 紘	石巻市長
6	きくち 菊 池	たかお 多 賀 夫	元横浜国立大学大学院 環境情報研究院 教授
7	きじま 木 島	あきひろ 明 博	東北大学大学院 農学研究科 農学部附属 複合生態フィールド教育研究センター 教授
8	きむら 木 村	みちこ 美 智 子	茨城大学 教育学部 准教授
9	さわもと 澤 もと	まさき 正 樹	東北大学 名誉教授
10	たかさき 高 さき 崎	みつる み つ る	石巻専修大学 理工学部 生物生産工学科 教授
11	だて 伊 達	むねひろ 宗 ひろ 弘	仙台大学 客員教授、宮城県図書館顧問
12	ふせ 布 せ 施	たかひさ 孝 ひさ 尚	登米市長

計 12名

敬称略、50音順